

## 活動報告

団体名	特定非営利活動法人 被災者応援 愛知ボランティアセンター
活動名	平成30年7月豪雨災害の被災者の皆さんのための応援（救援）活動
活動期間	2018/7～ 2018/9
活動の成果	<p>岐阜県関地区、岡山県笠岡地区、小田郡矢掛地区にて全12回、のべ158人で応援活動を実施しました。活動内容は主に、床下の泥だし、家具移動、片づけ、思い出の品探しなどでした。</p> <p>今年の夏は気温が40度を超える日が続き、熱中症の危険を伴ったため、十分な休息と水分補給を徹底しました。活動の雰囲気にも気を配り、お互いが声を掛け合うことで、チームワーク良くより安全に、最大限の力で活動が出来たのではないかと考えております。</p> <p>岡山県で出逢った91歳の女性は、土砂の下から取り出した食器を見ながら「もうこんなにたくさん使うことはないのだけどね。」と寂しそうに昔話をしてくださいました。私たちはその食器をひとつひとつ丁寧に洗い、拭き上げました。活動を終える頃には、土砂で塞がれてしまった向こう側の部屋も見えるようになり、ほっと安心したような表情をされていました。</p> <p>誰かの力になるということは簡単ではありませんが、誰かの力になるということは、崩れてしまったものをどかしたりするだけの【作業】ではないのだということに改めて感じました。</p> <p>災害は決して望みませんが、これからも被災された方へ寄り添った活動が出来るよう尽力いたします。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、私どもの活動へ多大なサポートをいただき、ありがとうございました。皆様から寄せられた大切な助成金を、有意義に活用させていただきましたのでご報告させていただきます。</p> <p>被災地でのボランティア活動は、泥出しや家財の移動などはもちろんですが、いろいろな方の寄り添う想いを届ける活動でもあると思っています。</p> <p>被災された方に寄り添った活動を心がけるとともに、一人でも多くの仲間を増やすことが出来るよう、引き続き精進してまいります。</p>

(活動のようす)

